

yamabuki 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 9 4

平成 19 年 12 月 6 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

デジカメ写真の取り込み

デジカメで撮った写真のメリットは、すぐその場で確認できるので撮り直しできること、データとして文書やプレゼンテーションに活用できること、大きく見せてわかりやすい授業に役に立てること、などがあります。

ここで、データとして活用するためには、写真をパソコンに取り込む必要があります。

デジカメを購入すると、たいていは取り込みソフトのCDが付属しています。これは、カメラに付属のUSBケーブルで、パソコンと繋いだときに、自動的に起動して、カメラの中にある、例えば新規に撮影した写真だけをパソコンに取り込めたりします。

このとき、「マイコンピュータ」を開くと、カメラが「リムーバブルディスク」として接続されていることがわかります。

リムーバブルディスク、というのは、取り外し可能な記憶媒体、という意味です。ディスクは「円盤」で、これまで、FD (FloppyDisk)、CD (CompactDisk)、MD (MiniDisk) (※)、HD (HardDisk) といった、円盤状の記憶媒体が主だったため、フラッシュメモリなどの円盤のないものもディスクという扱いになっています。

※MDは主として音楽用。一部、パソコンの記憶媒体としても使用できるものがあります。パソコンでは、MO というものがあります。これは、Magneto-Optical disk (光磁気ディスク) です。DVD は、Digital Versatile Disk 。

写真のデータは、カメラに挿入されている XD カードなどのカード媒体に記憶されていますので、カメラを直接繋ぐずに「カードリーダー」と呼ばれる装置を使うことができます。カードリーダーはパソコンと USB 接続され、ここにカードを挿入すると、リムーバブルディスクとして認識されます。



カードリーダー

パソコンにリムーバブルディスクとして認識されれば、後はそこにある写真 (通常DCIM→100_FUJIなど→写真データ) を パソコンにコピー すれば取り込むことができます。

このとき、以前にも書いたように、カメラのメディア (カード) の中身を書きかえてはいけません。写真ファイルを削除したり、フォルダを作って移動したり、ファイル名を変えたりすると、カメラで認識できなくなって、次に使うときに不都合がおきます。注意してください。